

平成二十六年九月投句

【太宰府 観世音寺 水城など】

足元の花に始まる花野かな

水城門在りし跡とや昼の虫

暮れ初めて熱き蕾の曼珠沙華

勝利

一枚はすでに捨田の露草に

真理子

天空に動物園や秋の雲

白萩の低く垂れたる旅人の碑

水城門跡発掘の草に露

晴れ渡る筑紫野の空今日白露

観世音寺梵鐘の陰茸出で

節子

発掘の水城の礎石つくつくし

由紀子

頭だけ見えて案山子の水城址

蔵町の菓子屋横丁こぼれ萩

八朔や男の子に馬の藁細工

待宵や髪ざらざらと指の間を

光子

【お休み】

佳与子

白萩に閉ぢられし門錆びてをり